

原子力災害

原子力に関する詳しい内容は、「原子力防災ガイドブック」をご参照ください。

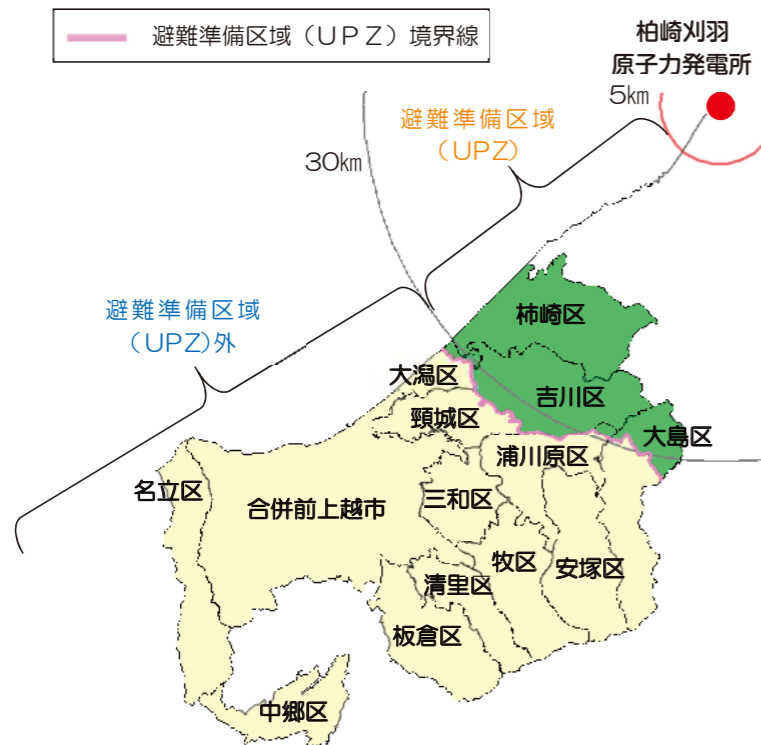
原子力災害とは

原子力発電所などから放射性物質が大量に放出され、周辺の人々の健康や環境に影響を及ぼすことです。放射性物質から出る放射線は目に見えず、臭いもないなど五感（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）では感じられず、影響が広範囲に及ぶため、正しい情報のもとで冷静に行動する必要があります。

原子力発電所からの距離で対応が異なります

発電所からの距離	地域	基本の対応
即時避難区域 (PAZ) 「Precautionary Action Zone」 〈おおむね5km圏〉	○柏崎市の一部と刈羽村 ※当市にはありません	○放射性物質放出前に即時避難
避難準備区域 (UPZ) 「Urgent Protective Action Planning Zone」 〈おおむね5～30km圏〉	○「柿崎区、吉川区」の全域 ○「浦川原区、大島区、大湯区」の区域の一部	「まずは屋内退避」 ○その後、空間放射線量の測定結果を踏まえて避難が必要な区域を特定して一時移転・避難を実施 ○必要に応じて安定ヨウ素剤(*)を服用
避難準備区域 (UPZ) 外 〈おおむね30km超〉	○上記を除く全市域	○必要に応じて屋内退避を実施 ○その後、避難準備区域 (UPZ) における対応と同様に避難等を実施

上越市では市民の安全確保に万全を期するため、全市域を上越市原子力災害に備えた屋内退避・避難計画の対象区域としています。



基本の行動は「まずは屋内退避」です。

(*) 安定ヨウ素剤とは？
放射性ヨウ素が身体に取り込まれると、甲状腺に蓄積されます。そこで、放射性ではないヨウ素を含んだ薬（これが「安定ヨウ素剤」です。）を事前に飲み、甲状腺にヨウ素がたまった状態にしておくことにより、放射性ヨウ素が体内に入っても甲状腺には取り込まれず、甲状腺の被ばくを低減することができます。

原子力災害から身を守るために覚えておきたい行動のポイント

原子力災害で何よりも重要なことは、放射線や放射性物質から身を守ることです。原子力発電所で重大な事故等が発生した場合、市では、事故等の状況や市民の皆さんにとっていただく行動についてお知らせします。正確な情報に基づいて、適切に行動することが大切です。原子力災害から身を守るために覚えておきたい行動のポイントは、「正確な情報の入手」「まずは屋内退避」「屋内退避の継続」「状況によって特定の区域が避難」の4つです。

■正確な情報を入手しましょう

- まずは落ち着いてテレビやラジオをつけ、正確な情報を入手してください。
- 市（または国、県）からの情報に基づいて行動するよう、心がけてください。
- うわさやデマなど不確実な情報に惑わされないようにしてください。

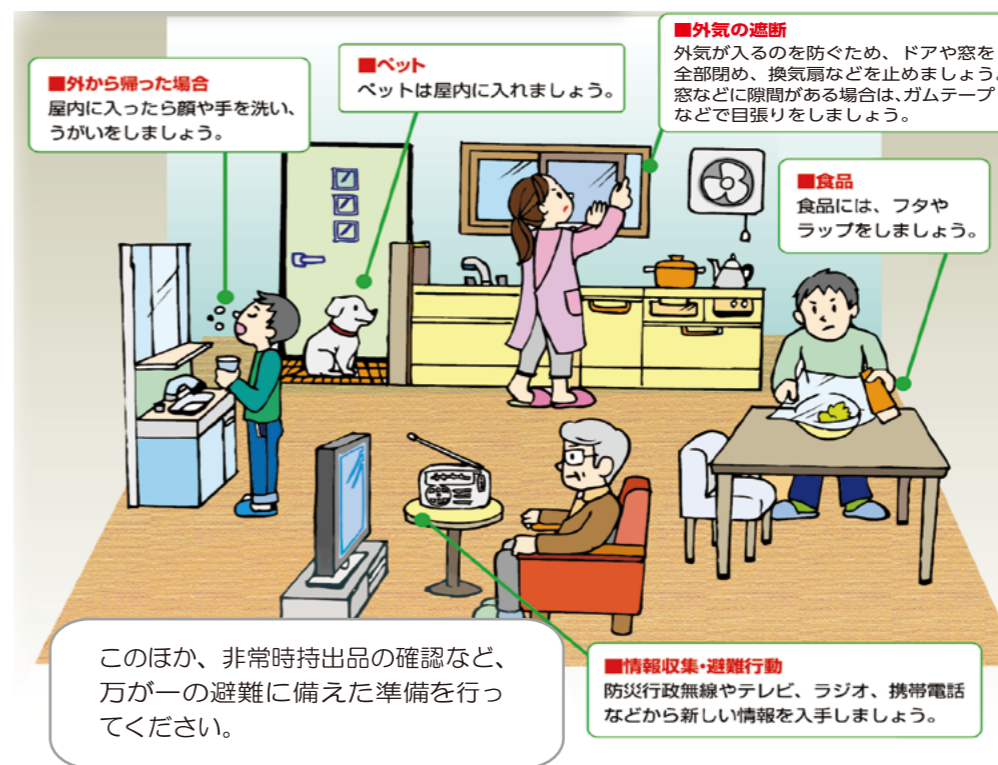
市からお知らせする情報

- ◆事故等の状況
- ◆空間放射線量の測定値
- ◆屋内退避、避難の必要性の有無
- ◆市民の皆さんに取っていただく行動 など



■まずはあわてずに建物の中に入りましょう。（屋内退避）

- 市は、事態の進展状況を見て、あらかじめ**屋内退避準備情報**を発表するとともに、原子力発電所から放射性物質が放出される前に**屋内退避を指示**します。
- 市民の皆さんは、屋内退避指示の解除や避難指示が出るまで**屋内退避を継続**してください。
※屋内退避とは…市民の皆さんが比較的容易に行える自衛策であり、放射性物質の吸入抑制や放射線を遮へいすることにより放射線による健康被害の低減を図ることができます。



■屋内退避を一定期間実施。

その後、状況に応じて避難が必要な区域を特定して避難

- 事態が進展し、放射性物質の放出があった場合、空間放射線量の測定結果を踏まえて**避難が必要な区域を町内会単位で特定し、その区域の住民に対して避難を指示**します。（避難が指示された区域以外の住民は屋内退避を継続します。）
- 災害の規模や道路の状況、避難方面の空間放射線量の測定結果を踏まえ、避難先となる施設等をお知らせします。